

# 進路通信 2018/04 前期

在校生・卒業生・保護者・教職員

北海道釧路湖陵高等学校進路指導部

◆特集 進路概況 ～国公立大学 現役109名 京大1名 大阪大1名 東工大1名 医学部医学科 現浪合わせて11名～ 国公立大学現役合格率史上6位! ◆

新年度が始まり、生徒の皆さんは気持ちも新たに、意欲もあがっていることと思います。新入生のみなさんは、ご入学おめでとうございます。本校の進路指導理念は「志を高く、易きに流れない」です。これは、生徒の皆さんに対してのみ有効な理念ではありません。我々教員自身も、常に心に留めておくべき理念として、受け継がれています。伝統校ならではの良さを大切にしつつも、現行の大学入試センター試験の廃止等、新たな動きにも対応した進路指導を展開したいと考えております。保護者の皆様方には、ご理解・ご支援のほどをよろしくお願い申し上げます。

今回の進路通信は、平成 30 年 3 月に卒業した生徒の進路状況についての報告ですが、報告の前に、模擬試験・センター試験・入試結果の情報提供についてお願いがあります。(同内容の文書をお子様を通じて後日配布いたしますので、合わせてご覧ください。)

## 模擬試験・大学入試センター試験・ 大学入試結果等の情報提供のお願い【重要】

生徒の皆さんに対して進路指導をするにあたって、以下のお願いがあります。趣旨をよく理解し、是非協力をお願いします。

### —依頼事項—

生徒の皆さんの

ア・模擬試験(スタディサポートを含む)結果

イ・大学入試センター試験結果

ウ・大学入試に関する受験および結果

等の個人情報を、校内で集約し、校内資料として活用する他、河合塾・ベネッセコーポレーション・駿台予備学校・代々木ゼミナール・学習研究社等の各種調査等に提供することに同意してください。尚、校内で集約した個人情報を外部に報告または提供する際には、生徒氏名を削除する等、情報の取り扱いに関しては最大限の配慮を行うことを約束いたします。

加えて、第3学年の生徒の皆さんの合格状況を氏名入りで校内に掲示することを承諾して下さい。後輩達の励みになります。

### —目的—

本校の後輩の進路指導に活用することを目的としています。そのため、個人情報は統計処理され、主に来年度以降の志望校合格判定等受験情報の基礎資料として活用します。

過去、先輩達が提供してくれた貴重なデータのおかげで現在本校の進路指導は大変充実しています。生徒の皆さんは、上記情報提供についてどうしても同意できない場合には、担任に申し出て下さい。

2018 年度センター試験の志願者数は 582,671 人(昨年 575,967 人:前年比 101.2%)、本試験の外国語受験者数も 548,465 人(昨年 540,941 人:前年比 101.4%)といずれも増加しました。

大学入試センターが発表した志願者数の現卒別の内訳をみると、現役志願者数は昨年から 1,728 人増の 473,570 人(前年比 100.4%)、既卒生志願者数も 4,830 人増の 103,948 人(同 104.8%)といずれも増加しました。来春の高校卒業見込み者(現高3生)が昨年から約 1 万 4 千人減少する一方で、現役生の志願者が昨年並みに留まったのは、センター試験の現役志願率(センター試験現役志願者数/高校卒業見込み者数)が上昇しているためです。現役志願率が上昇している背景としては、推薦・AO入試でセンター試験の利用が拡大していることも要因でしょう。また、既卒生志願者の増加は、2017 年度入試が私立大で合格者絞込みがあるなど厳しい入試であったことも影響しています。

センター試験は 2020 年 1 月の実施を最後に廃止され、2021 年からは「大学入学共通テスト(以下、共通テスト)」が導入されます。これは、国が進める大学入試改革の一環で、学力の 3 要素である「思考力・判断力・表現力」を評価する目的で新たに実施されるものです。2017 年 12 月には、「共通テスト」導入に向けた試行調査の問題が示され、対話形式での出題や、文章や図表など複数の素材から考えさせる設問が目立つ内容となっていました。

今年のセンター試験の問題では、全体として大きな変化はなかったものの、この入試改革の方向性を踏まえた新しい形式の出題がみられました。例えば国語「現代文」の第 1 問では、本文に付された図(写真)

に関する生徒の話し合いが紹介され、そのうちひとりの会話が空欄補充問題として出題されました。また、英語「筆記」では、第 2 問の対話の流れを読み取る問題や、第 3 問の話し合いの発言内容をまとめる問題が出題され、より実践的なコミュニケーション能力を問う傾向が強まりました。

【全国の平均点】

多くの国立大で必要となる 7 科目の受験者平均点は、文系型で昨年から 3 点ダウンの 552 点(900 点満点)、理系型で 1 点アップの 560 点(900 点満点)と、どちらも大きな変動はありません。文系は、地歴 B 科目や「倫理、政治・経済」で平均点が上昇したものの、「英語(リスニング)」、「国語」に加え、選択者の多い「生物基礎」で平均点がダウンしたことが影響しています。一方、理系は、多くの理系生が受験する「化学」や、選択者の多い「地理 B」での平均点アップが、「英語」・「国語」などの平均点ダウンを相殺した形となりました。

得点分布は、文系型、理系型とも 720 点(得点率 8 割)以上の高得点層が昨年と比較すると 1 割程度減少しています。主要科目である「英語(筆記)」、「数学 I・数学 A」、「数学 II・数学 B」の平均点はほとんど変化がなかったものの、いずれの科目も成績上位層が減少していることが要因でしょう。今年のセンター試験では、高得点が取りづらい状況だったことがうかがえます。

【湖陵の平均点】

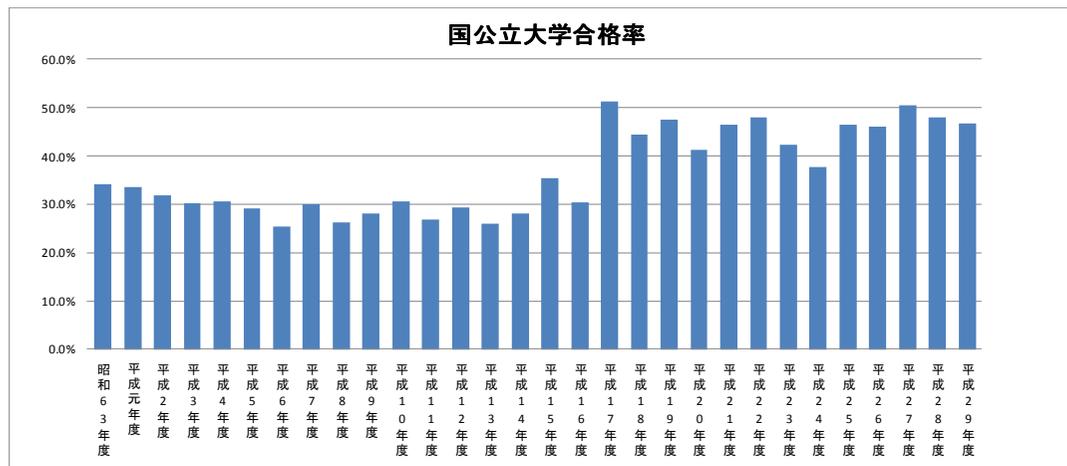
本校の平均点は、7 科目文系型で 560.7 点、7 科目理系型では 582.8 点でした。

本校の文系は 80%以上の高得点者は 0 名で例年より抑えられました。理系においては高得点者は例年通り、十数名いました。全国では高得点者層が 1 割減少したことを考えると理系の上位層は健闘したということが言えます。本校の学年全体で見たとときには 55%(495 点)の山に人が集まっている点が課題です。500 点を切る出願できる国公立大学が非常に少なくなるからです。60%(540 点)あると出願できる大学や学部の幅が広がります。各教科の全国平均と本校の平均点を比較すると特に国語(+16 点)と英語(+10 点)が健闘しています。

## 1. 国公立大学入試の概要

まず本年度の国公立大学入試についてみていきましょう。過去 30 年にわたる合格者の推移をグラフにまとめました。

国公立大学現役合格者数 109 名(前期まで 75 名・中・後期 34 名)  
 国公立大学現役合格率 46.8%(文系 46.4% 理系 44.4% 理数科 55%)  
 1 学級あたりの国公立大学現役合格者数 18 人



教科・科目		2017年度	2018年度	差	
外国語	英語(筆記)	123.73	123.75	0.02	
	英語(リスニング)	28.11	22.67	-5.44	
数学	① 数学 I・数学 A	61.12	61.91	0.79	
	② 数学 II・数学 B	52.07	51.07	-1	
国語	国語	106.96	104.68	-2.28	
理科	①	物理基礎	29.69	31.32	1.63
		化学基礎	28.59	30.42	1.83
		生物基礎	39.47	35.62	-3.85
		地学基礎	32.5	34.13	1.63
理科	②	物理	62.88	62.42	-0.46
		化学	51.94	60.57	8.63
		生物	68.97	61.36	-7.61
		地学	53.77	48.58	-5.19
地理歴史・公民	世界史 B	65.44	67.97	2.53	
	日本史 B	59.29	62.19	2.9	
	地理 B	62.34	67.99	5.65	
	現代社会	57.41	58.22	0.81	
	倫理	54.66	67.78	13.12	
総合	5教科7科目文系型	555	552	-3	
	5教科7科目理系型	559	560	1	

科目平均点は大学入試センター発表・総合型は河合塾推定値

国公立大学に現役で 109 名、合格率は 46.8 %でした。これは湖陵高校の歴史上 6 位という好成績を残しました。

なぜ史上 6 位という快挙を達成できたのでしょうか。一番の理由は最後まで諦めない姿勢で学習に取り組んだからだと思います。

■センター試験後の頑張り

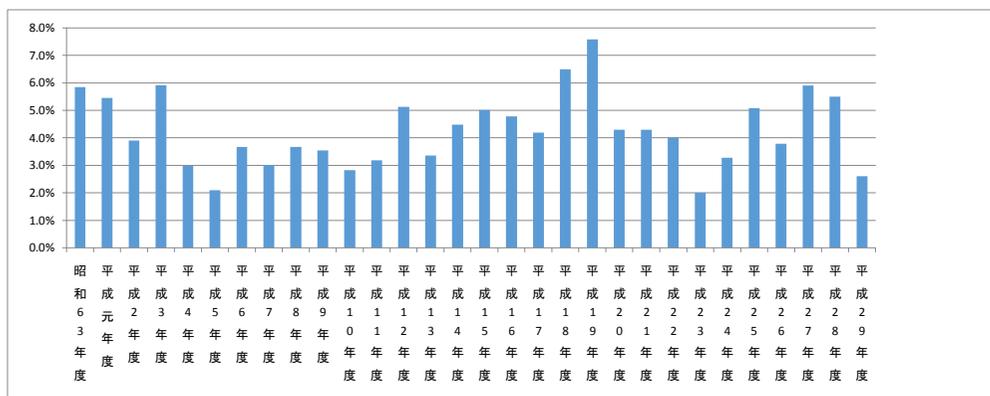
センター試験で考えたとおりの点数を全員がとれたわけではありません。しかし、二次試験で逆転している人が多くいました。北大合格には 75%から 80%の得点率が必要です。しかし、センターの得点率 72%で北大（理系）に合格した人がいます。また、センター前の模試で A 判定が出る点数を毎回取っていたのに、センター試験本番で 20 点ほど低い点数（C 判定）を取ってしまった人が見事に東北大学（文系）に合格しました。予想外の低い点数をとってしまうとみんな落ち込むのが当然です。しかし、時間が限られていますので、早く気持ちを切り替え、強い気持ちで二次試験に向けて頑張れる精神力があることが大切だと改めて受験生の皆さんから教えられました。また、少しくらいセンター試験を失敗しても揺るがない確かな記述問題に耐えうる学力を普段から培っておかなければ、精神論だけで乗り切れないことも確かです。

■中期・後期の頑張り

中期・後期は、募集人数も減り、どの大学も競争率が高くなります。そういった中で 34 名も合格できたことは大変素晴らしかったと思います。よくある失敗は前期の結果が出てから慌てて対策に学校へ来るというパターンです。この時期は高校入試の時期でもあり、学校に入れない時期があります。前期の発表後からの準備では非常に時間が足りないということです。後期の試験は小論文や面接の大学が多いです。勉強と同じように真剣に準備しなければ、失敗します。前期の試験が終わった次の日から、添削に訪れる三年生がたくさんいました。素晴らしい姿勢だと感じました。前期の発表後、合格者が喜んで職員室に挨拶に来ている中、3 年生教室で朝から夜遅くまで先生と面接練習する姿や赤本を開く姿が目についています。

京都大学	総合人間学部	1名
東京工業大学	第5類	1名
大阪大学	工学部	1名
東北大学	経済学部	1名
	工学部	1名
	薬学部	1名（過年度）
北海道大学	医学部医学科	1名
旭川医科大学	医学部医学科	2名
札幌医科大学	医学部医学科	4名（うち過年度3名）
富山大学	薬学部	1名
東京芸術大学	音楽学部	1名

■北海道大学現役合格率（合格者数／卒業者数）の推移—過去30年間—



北海道大学前期日程合格者のうち道内勢の占める割合は、年々少なくなり、前期で約 36.1%と昨年度よりもさらに過去最低を記録しました。本校では 8 名の現役合格者でした。昨年度の 13 名と比較するとさみしいように感じるかもしれませんが、今年度は京大を初めとして本州の旧帝大レベルの大学にも挑戦し合格している人が多くいます。北大以上の大学にもっともっと多くの方に挑戦してもらいたいと考えます。

2. 私立大学入試の概要

私大入試においてもがんばりが見られました。関東ではG-MARCH（学習院・明治・青学・立教・中央・法政）、関西では関関同立（関西・関西学院・同志社・立命館）といった難関大学にも現浪合わせて合格しているなど、健闘しました。

反面、早い段階で私大型の 3 教科の勉強に絞った生徒の中で明暗が分かれたことも事実です。科目を絞る理由としては、数学が苦手だということをあげる生徒が多いです。しかし、英語も国語もたいして得意ではない状況での科目減は、失敗を招くこともあります。きちんと担任の先生と相談することが大切です。

慶應義塾大学	総合政策学部	1名
早稲田大学	文化構想学部	1名
早稲田大学	法学部	1名
早稲田大学	商学部	2名
早稲田大学	社会科学部	1名
早稲田大学	人間科学部	1名
昭和大学	医学部医学科	1名
順天堂大学	医学部医学科	1名
国際基督教大学	教養学部	1名（過年度）

■難関私立大学受験結果・のべ数（ ）内は昨年度

大学名	現役受験者数	現役合格者数	大学名	現役受験者数	現役合格者数
慶應義塾大学	1（1）	1（1）	立教大学	3（12）	1（1）
早稲田大学	19（9）	7（2）	中央大学	15（9）	4（3）
上智大学	3（4）	0（1）	明治大学	17（10）	4（4）
東京理科大学	8（9）	2（4）	青山学院大学	7（7）	1（0）
同志社大学	4（2）	1（0）	法政大学	8（27）	2（4）
立命館大学	7（2）	3（1）	関西学院大学	0（0）	0（0）

3 平成 31 年度（次年度）以降の入試に勝利するためには

1 安易な科目減をせず、最後まで粘り強く学ぶ

安易な科目減では、何も解決しない場合が多いです。よく考えた上で科目を減らす場合は、逆に勉強の質量を増やす必要があります（科目を減らすことは、失敗科目がつかれないことを意味します）。学習する質量を減らすための科目減には、何の意味もありません。

2 繰り返し学習は、家計にもやさしく、本人のためにもなる

次に、基礎基本の徹底です。入試問題に挑戦し始めると、難問・奇問を解けることが合格へのカギだと思う生徒がいます。しかし、まず大事なことは、基礎的な問題を確実に得点することです。そのために必要なことが繰り返し学習になります。浪人中、学校で買った化学の問題集 1 冊を 15 回以上も解き直し、北大の医学部医学科に合格した先輩や、同じく浪人中、日本史の教科書を 10 回以上読みこんで基礎を確認し、大阪大学に合格した先輩もいます。繰り返し学習は「家計にやさしく、実行した者は、合格に近づける方法」です。

3 目標を定め、それを達成する計画を立てる

「志を高く」という本校の進路指導理念にある通り、「国公立大学に入りたい」だけでなく、結論がなくても自分の生き方・取り組みたいことを真剣に考えてほしいです。そして、自分の「目標」に次いで考えて欲しいのは「計画」です。計画を立てることを面倒くさがる生徒もいると思いますが、浪人生が予備校でまず、するよう命じられるのが「計画立案」であることから、重要性がわかったと思います。

4 深める楽しさも味わってほしい

本来、大学とは結論がでるかどうかわからないことを深めて掘り下げていく場所です。深めて探究することを楽しいと思う素質が必要です。全科目でなくても、「楽しいから深めたい」と思う科目（分野）がある人は、入試でも強いと思います。